

Title	はしがき
Sub Title	
Author	松本, 芳夫(Matsumoto, Yoshio)
Publisher	三田史学会
Publication year	1961
Jtitle	史学 Vol.33, No.3/4 (1961. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	史學科開設五十周年記念
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19610400--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

はしがき

慶應義塾に大學部（文學科、理財科、法律科）が設置されたのは、明治二十三年（一八九〇）一月であつて、同二十五年十二月に第一回の卒業生がでしたが、その後文學科は學生がすくないために一時廢絶の状態であつたところ、同三十七年復活しました。しかし當時の教科内容を見ると、主として語學と哲學系統のものであつて、史學關係のものは、ほとんどみられませんでした。

しかるに同四十一年ごろから、文學科刷新の氣運がおこり、同四十三年（一九一〇）に一方では三田文學が發刊されるところにも、他方では、田中萃一郎教授を中心として、史學科が創設され、文學科は、英文學、哲學、史學の三科に分れ、その整備をみるにいたりました。

かくて史學科は、創設されてここに五十年を経ました。五十年の年月は、かならずしも長いとは申されませんが、時代の進展がめざましく、世相の變化のはげしい現代において、史學という學問の重要性をおもう時、五十年をかえりみて、これを記念することは、意義のないことではありません。それは回顧が、同時に前進を意味するからであります。そういう意圖で、史學第三十三卷第三、四號を合して、史學科創設五十年記念號として發刊しました。

一九六一年三月

松 本 芳 夫